

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スポーツ雪合戦の普及と冬の観光振興
事業主体 (連絡先)	東信州雪合戦協会 小諸市御影新田2188-5 電話 0267-31-6588
事業区分	(6) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,574,576円 (うち支援金:1,071,000円)

### 事業内容

佐久の八ヶ岳及び浅間山麓地域の冬のスキー、スノーボード等の観光客が多いが、これらの人口の減少が続き、新たな冬季スポーツのメニューを発信する必要がある。このため、地域の若者を中心にスポーツ雪合戦の普及講習会を行い、大会を開催することにより、地域の活性化と交流人口の拡大により観光振興を図りました。



【第5回東信州雪合戦佐久大会  
IN白樺リゾート】

### 【目標・ねらい】

- ①一般住民の健康の増進
- ②観光および交流人口の拡大
- ③元気な佐久地域づくりへの貢献
- ④寒冷地域の特徴を捉えた観光

### 事業効果

スポーツ雪合戦の認識度やレベルの向上を図るため、審判講習会、体験講習会、を開催し、佐久地域のスキー場(立科町、南相木村)などで約500人が参加しました。

また、第5回東信州雪合戦佐久大会「IN白樺リゾート」を開催すべく募集を行ったところ18数チーム(約2百数十名)が参加申し込みをしましたが、例年になく雪不足により室内開催(蓼科ふれあいセンター)となってしまいました。

### ※自己評価【B】

【理由】 広報がチラシとポスター及びホームページと限られたものであったため18チームの参加にとどまり、雪不足のため室内開催によるキャンセルが2チーム出てしまいました。

### 今後の取り組み

平成24年度から実施している本事業ですが、継続することでスポーツ雪合戦の知名度も上がり、参加者も増加しつつありましたが、暖冬と雪不足のため参加チーム数が減ってしまいました。

このことから、首都圏からアクセスの上がる佐久地域では特色あるメニューとして先進的に取り組むことが重要です。

また、地域の若者への浸透も図ることにより冬の交流人口が増え、観光人口の恒常的な増大への可能性は非常に高くなります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある